



2011-12年度 会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告

日時 2011年5月15日(日)
会場 作新学院大学 (宇都宮市)

会長エレクト研修セミナーは当初3月13日に予定していましたが、東日本大震災のため本日開催する運びとなりました。また、時間も3時間という短い時間の中でカルヤン・パネルジー R I 会長の方針・R I テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を比企ガバナーエレクトが会長エレクトの方々に伝えました。

2011-12年度 国際ロータリー第2550地区 会長エレクト研修セミナー



比企ガバナーエレクトのご挨拶



瀬下ガバナーのご挨拶

2011-12年度 地区協議会報告

日時 2011年5月15日(日)
会場 作新学院大学 (宇都宮市)

瀬下ガバナーのご挨拶では、東日本大震災で岩手・宮城県で多くのロータリアンも被災され、またお亡くなりになりました。お亡くなりになりました方のご冥福をお祈りし、また被災された皆様にお見舞い申し上げます。

今回の地区協議会では、このような時こそ私たちロータリアンが手を取り合い、他の人々のために活動することを考えましょう。地域社会を熟知し、どんなニーズがあるのか、クラブの持てる資源では、何が優れているのか、一番よく分かっているのはクラブ会員の皆さんです。それらのリソースを最大限に活用すれば、地域を育むことができます。クラブ活動を刷新し、より柔軟に変えてください。より大きく、豊かに、かつ、大胆に進もうではありませんか。

また比企ガバナーエレクトは、カルヤン・パネルジー R I 会長エレクトの「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」 R I テーマを地区指導者の皆様に伝達しました。私たちは、深く自分のこころの中を見つめる時、平和と充足を願い、充実した毎日を過ごしたいと願っています。また、他の人のために、何かをしてあげたい、貢献したい、博愛を広めたいと思っています。2011-12年度は、ポリオ撲滅の継続とロータリー米山記念奨学会の活動を中心に、ロータリアンは世界から必要とされている存在であることを折にふれ、誰憚ることなく鼓舞して参ることにいたします。このことは会員増強への弾みともなります。皆さん共に活動しましょう。



会場風景

事務所・例会場
変更のお知らせ

那須 RC より事務所および例会場の変更です。

新事務所 〒325-0302 栃木県那須郡大字高久丙 1
例会場 ホテルエピ ナール那須
TEL 0287-78-6000 FAX 0287-78-6666

第2550地区ガバナー事務所

6月のロータリーレート1ドル=82円

〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551
メールアドレス/m2550@agate.plala.or.jp



国際ロータリー第2550地区

R. I DISTRICT 2550

http://www.rid2550.com/

2010-2011

VOL.12

ガバナー月信

こころをつなごう！

ガバナー 瀬下 龍夫



いたずらに馬齢を重ね、いつのまにか喜寿を迎えてしまった。何のために、生まれてきたのか自問自答せず自堕落な生活を続けてきた人間にガバナーなど務まるはずはない。

ガバナーはロータリアンの模範ではないか。その上、ロータリアンの経験も薄い。

ローマの哲人皇帝マルクス・アウレリウス流に言えば、寒い冬の朝などは、寢床から抜け出せない日々を送っていた。それが、ガバナー・ノミニエ受諾までの日々であった。

ところが、壬生ロータリー・クラブに籍を置いていたのが、私の運命を大きく変えた。会員数20名を切るクラブなのに、大胆にもガバナーを出そうという。

3年前に、GSEのリーダーとしてカリフォルニアを訪問。滞在先が現職のガバナーやパスト・ガバナーだったので、毎晩のように議論した。その際、感化されなければ、お受けしなかったであろう。

しかし、受諾してよかった。人生で最高の1年間になったからである。これまでに199日をロータリーのために費やした。どの1日も素晴らしく充実した悔いのない日々であった。本当に感謝している。ありがとうございます。

サラリーマン時代は会社人間で、脇目もふらずに仕事のことばかり考えていた。多少反省する気持ちも持ち合わせていたのだろう。学生時代を思い出し、マックス・ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』なども買ったが、積読だけであった。まことに恥ずかしい。

ノミニエの話がでたときである。自分のそれまでの仕事の進め方を反省の糧にしながら、職業奉仕に全力を注げば、越し人生の罪滅ぼしになるのではないかと、美術館などの観賞も取り入れた。そして、目指すは地区大会である。前例踏襲はやめ

チーム研修から始まりPETSを開催するところになると落ち着く。クリンギングスミス会長の言われるとおり、しだいに大胆に革新しようと気も高まる。地区協議会では、ロータリアンの人格向上に役立つのではないかと、美術館などの観賞も取り入れた。

そして、目指すは地区大会である。前例踏襲はやめ

よう。従来と違った趣向で、ロータリアンの心に残る職業奉仕を中心とした地区大会にできないか、と日夜、自問自答する。

R I 会長代理は、北海道の道下先生をおいて他にいないと、クリンギングスミス会長に直接手紙を書く。これらすべてに、壬生クラブの仲間が、しっかり応えてくれる。

考えていた以上の出来ばえであったと自画自賛している。最後まで多くの方が残り、拍手が鳴りやまなかったのは、その証ではないかと思っているが、みなさんのご判断はいかがでしょうか。

公式訪問は、会長・幹事懇談会を含め、袴を着けず、型紙破りの時もあったが、本音で行い、共感を得られたのではないかと。中核となる価値観も再確認だけだし、多くの真の友ができたのが、その証だ。これは何物にも代えがたい。みなさんにも、この経験をぜひ味わってほしい。ガバナーになれば、賞罰できます。

3月にもなると、肩の荷も多少おろる。

と、東日本大震災である。手を休めるなという神の思召しであろうか。1日20時間以上かけ、釜石まで往復したことは、生涯忘れられまい。

パスト・ガバナーの道下俊一先生は、霧多布で十勝沖地震津波、チリ地震津波と2度も襲われたが、住民のことを考え、札幌には戻らず、地域医療に生涯貢献されたのである。

私も自宅の横浜に帰らず、最後の力を振り絞り、全力疾走しているところだ。まだ1ヶ月ある。災害支援になにができるか、みんなで考え、行動しようではありませんか。

末筆になるが、諮問委員のパスト・ガバナー様をはじめ、地区委員の方々、ガバナー補佐、第6グループのクラブのメンバー、ガバナー事務所の方など多くの方のお力添え、ご支援がなければ、私の責務は果たせなかったであろう。ここに深甚の謝意を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

次年度も、クラブがより大きく、より豊かに、より大胆になるよう祈念しながら、本号をもって、比企ガバナー・エレクトに、バトン・タッチいたします。

VOL.12
CONTENTS

1P ガバナーメッセージ 2P~6P ガバナー補佐の一年間を振り返って 7P 第3グループI M報告 8P 青少年交換委員会報告・ハイライトよねやま 9P マッチンググラントの経過
10P 故 辻由兵衛パストガバナーを偲んで 11P 米山奨学会寄付者名簿・被災地よりの礼状・文庫通信 12P 新入会員・物故者 13P 4月会員増強・出席報告 14P 会長エレクト研修セミナー・地区協議会・お知らせ



ガバナー補佐の一年を振り返って

第1グループ

小野田 裕 (大田原中央 RC)



瀬下龍夫ガバナーの誕生とともに、ガバナー補佐の役目がクラブに充てられクラブを代表してお引受する事となりました。メッキが剥れ落ちない内に何事もなく過せるよう願った一年でした。幸い瀬下龍夫ガバナーが、補佐の私には労を惜しまず手を差延べて下さり期首の夏期交換学生を受入もお蔭様にてスムーズに運びました。第1グループ7クラブの公式訪問に際しても、事前準備は万全で、報告書に関しても細部にわたり熟知熟読され不明点の質問に答えられず訪問クラブ会長と共に冷汗を度々かきました。地区大会を挟んでの公式訪問でしたが、10月には終了となりました。グループ内各クラブにそれぞれ個性があり、年々歳々成長していく「人格」と同じように「クラブ格」が存在しているようでした。グループIM大会も我がクラブ会長はじめ全員で支え盛り上げてくださり、盛況の内に終わりました。これからは家業に集中しようとした矢先に3月11日午後2時46分3万人にのぼる死者・行方不明者を出す東日本大震災が発生し、レベル7となる原発事故が誘発され、再び放射能に汚染された国家が瞬きの間に出現しました。地震は地球規模からみればくしゃみ程度の事ですが戦後敗戦の焼け野原から作り上げてきた安心安全の我が家が、そして100年200年の町や村の生活文化の積上げが灰燼に帰すのを見せられ、形ある物の無力さを痛感させられました。気持ちが落ち込んでいた時に、入会間もない若いロータリアンが、早速支援活動を開始です。翌週にはトラック一杯の支援物資を積んで高萩市の沿岸まで出発しました。窮状をクラブに持帰り、再び支援物資を集め届けました。クラブロータリアンの果敢な行動力に敬意を表すとともに、これからの復興には、生活感性のイメージがなによりも人を突き動かすものだと感じることが出来ました。何気ない日常の中に情念が織り込まれて、私にとって今後のロータリークラブの原点に変容します。その事がおおいなる収穫となる年でした。刺激に富んだ補佐の一年でしたがガバナーをはじめ地区役員に心より感謝申し上げます。

第2グループ

菅野進一 (矢板 RC)



2010～2011年度瀬下ガバナーの年度も終わりにお近づいて、本当に月日の経つのは早いもので、あっという間に一年が過ぎようとしておりますが、今度のこの自然災害は誰もが想像をしている未曾有の大災害に見舞われて、今までこの栃木県は比較的自然災害にはあまり被害には見舞われることも少なかっただけに、被災地の方々にはお見舞いを申し上げる次第です。震源地の大地震で特に東北地方は大きな自然の脅威に晒されてしまい、人々が永々と築いてきたものを一瞬にして全てを破壊されてしまいました。しかし、人間はどの様な苦難にも立ち向かってきたことを思います。これを教訓にして人々は、必ず立ち上がることができるものと思います。でも被災した地域の人々にはこの自然災害は無情である。人々が助け合って必ず元の姿になることを祈るだけである。

瀬下年度も残りわずかになって参りました。しかし、忘れられない年度となってしまいました。第2グループの皆様には何かとお世話になりまして誠にありがとうございました。今後も宜しくお願いを申し上げます。



ガバナー補佐の一年を振り返って

第3グループ A.

矢嶋昭司 (宇都宮 RC)



チャレンジングな瀬下ガバナーのご指導に対し、あまりお応えできずに1年が過ぎようとしています。補佐という役目を拝命しながら申し訳なく、反省しております。

しかし、私は、これまで自クラブのみで他クラブの例会や地区行事には殆ど参加していなかったもので、R.C. の組織としての現場、実態についてはよくわかりませんでした。今年は皆様より多くのご指導を賜り、非常によい体験をさせていただきましたことに感謝しております。

ロータリークラブは1つの基本的な形式で全体が組織化されているように思っていたのですが、実はそれぞれのクラブには特性があり、また、組織の指導者1年交代制度によって毎年変化し続ける。国により、地区により、個々のクラブにより千差万別の R.C. がある。今さらながら、これこそがロータリーの活力であり、多様性 (Diversity) であり、よくできた組織だと実感することができました。

年度前半は、ガバナー公式訪問のお手伝いに伴う、担当クラブ訪問等々がメインでしたが、後半は、3月11日以降に発生した非常事態や、計画停電騒ぎもあり、一時は例会開催も危惧される事態となり、震災発生一週間後に担当グループ会長宛に、クラブ運営に関する緊急メッセージを配信したり、今日まで、近年わが国での最大の国難に対応する R.C. の支援のあり方を中心とした課題に忙殺されたと言えるでしょう。

この度の災害復旧は、短期的な支援のみでなく、国を挙げての長期的展望に立った、対応が望まれます。今後、日本のロータリークラブ活動も多分世界中の仲間から注目されることでしょう。新年度に向けて新しいリーダーのもと、単なる経済的支援団体ではなく、職業奉仕を中核とする奉仕の理想を追求する日本のロータリークラブの活動に期待します。

第3グループ B

高山 實 (宇都宮陽東 RC)



平成21年10月頃、当所属クラブ当時岩村会長より補佐の打診があり、いきさつはともかく引き受けざるを得なくなり指名をうけました。その後、ガバナー補佐としての役割等を、前ガバナー補佐の鈴木さんに補佐としての心構え等を教えて頂きました。

22年7月1日より新年度が始まり、親クラブである宇都宮東ロータリークラブにおいて、22年9月7日、忘れもしない第1回目の補佐の事前訪問の事ですが、約30分の卓話の時間を頂きました。数日前から卓話の内容の資料を集め、こんな話をしようかと思いつきながら当日がきてしまい、いざ壇上に立ちそうそうたる皆さんの前に、蛇に睨まれた蛙ごとく足が震え、15分足らずで何を話したか覚えていません。最後にガバナーノミニーをお願いしたことを覚えています。人生の中でこんなに緊張したことはありませんでした。

その後南ロータリークラブ、陽南ロータリークラブ、陽東ロータリークラブと各クラブに訪問するたびにロータリーの仲間に補佐、補佐と言われるうちに、人間で怖いもので言葉も変わり態度も変わりガバナー補佐になれてきたような気がします。

公式訪問には、瀬下ガバナーの卓話を何回も聞き大変勉強になりました。3月11日の荒れ狂う津波をテレビ等で見てまさに言葉を失う衝撃を受け、金銭の支援、栃木県内の避難場所にて炊き出し等10日間やらされて頂きました。又、支援物資においては宮城県名取市にトラック一台、塩釜市桑原パストガバナーさんの所には電話をし、必要な物資を聞き、地域で集まった物資、又、足りない物資は30万円ほどいろいろ買い求め、3月31日に佐川急便にて送り、4月1日朝に桑原様よりお礼の電話がありました。

これからはしっかりと支援させていただきます。

ガバナー補佐としての最後の仕事IMにおいては、4月16日に90ロータリーの飯村実行委員長さんに段取りをしていただき素晴らしいIMが終了したことを感謝し、至らないガバナー補佐〔高山〕を支えてくださったロータリーの皆様にお礼を申し上げます。最後になりましたが瀬下龍夫ガバナー、1年間お疲れ様でした。



ガバナー補佐の一年を振り返って



第4グループ
杉山 欣 (真岡 RC)

2010～2011年度、第4グループガバナー補佐を拝命し一年間、瀬下ガバナーの下グループ内4クラブとともに事業に携わってまいりました。

瀬下ガバナーは、ロータリーの原点は「職業奉仕」であり「職業奉仕」への取り組みを重視するとともに例会において職業倫理をさらに高め、社会における奉仕の実践をおしクラブの活性化を図っていただきたいとの要望があり、補佐として各クラブにも事業計画に取り入れて

いただくようお願いいたしました。幸いにも各クラブにおいては、ガバナーの意向を事業にとりいれてスムーズな事業展開をされておりました。

公式訪問については各クラブの例会の2週間前にお伺いし指導してまいりましたが、どのクラブも公式訪問について真剣に受け止めており、素晴らしい公式訪問となり瀬下ガバナーも安堵しておられました。又、グループ内の会長幹事会を4度開催し意志の疎通と親睦を深めることができました。

しかし残念なことに、3月12日(土)に行う予定でしたI・Mが中止になってしまったことでした。前日11日に起きた東日本の大震災により会場が被災され急遽中止となりました。東北の各地のような悲惨な状況ではないがグループ内にも大なり小なりの被害があり、いち早い復興を願っております。

尚、I・Mに関しての登録料としてお預かりしました運営費の残金を義捐金として各自治会へ配分いたしました。

以上、一年間の報告をさせていただきました。

「あ・り・が・と・う」やれば出来る！ガバナー補佐の1年を振り返って



第5グループ
森 容子 (小山中央 RC)

瀬下龍夫ガバナーの熱い想いを受け止め 全てを投げ打つ思いで1年間奮闘して参りました。その目標とは

① 合同例会の実施

例会の重要性を訴え2クラブ毎の合同例会の実施を行いました(合計5回)互いの例会風景を学び、他クラブ会員との交流を図ることを目的とした

② 参加型IMの実施

タイトル「和・輪・話」のIM 部活動

テーマ 「和の心を持って、ロータリー精神のもとに輪となり、対話により理解を深める」

各クラブより抜擢されました部員50名が仲間作りを目的とした初体験の稽古に真剣に取り組みました。結果、他に類を見ない大きな輪が完成いたしました。これはロータリアンの精神的核となる連帯があらためて醸成された事と思います。

上記事業は

小山クラブ大森武男会長、福田俊男幹事。南クラブ山崎泰勝会長、山本郁夫幹事。東クラブ大橋俊雄会長、嶋田政利幹事。北クラブ手束公一会長、津釜誠一幹事。中央クラブ慶野正司会長、慶野保夫幹事 全員参加の5回の有意義な会長幹事会を開催させて頂き又第5グループのロータリアンの皆様には絶大なご協力を頂きました、心から感謝を申し上げます。

そして、新米補佐を支えて下さった我が中央クラブガバナー補佐特別委員会の皆様にはご支援を頂き厚く御礼を申し上げます。

息の長いロータリー活動の中で本年度の皆様のご積極的な一石が大きな波紋になれば望外の幸せでございます。

ありがとうございました。

(ひとりごと) 第5グループは団結と実行力のある素晴らしいクラブばかりでした。



ガバナー補佐の一年を振り返って



第7グループ
大出 孝三郎 (鹿沼 RC)

思い起こせば2009年にガバナー補佐の委嘱状を頂きました。ロータリアンとして大変名誉な事と思いつつ一方ではどのようなことをするのかた思案を致しました。基本的なことは瀬下がバナー様のお考え、また第2550地区の諸々の事柄などを第7グループの各クラブに伝えることが目的であると考えられますが、それだけでは補佐の仕事ではないように思われました。

各クラブを訪問して各ロータリアンと話しをするうちに各クラブのすばらしい事が沢山ありそれを他クラブにも伝えたい、また各クラブともすばらしい奉仕活動をしていることを学ぶことができ、これを自分だけのものにしてはもったいないと思いつつ一年の終わりになってしまったような次第です。

今年度は今世紀最悪と思われる大震災に見舞われました。この災害に対して各ロータリークラブ、各会員におかれましては有償また無償にと活躍をしていただきました。この奉仕活動は次年度も続くことと思いますが私達ロータリアンにとっては原点であります「よく奉仕する者よく報われる」事を実践できたことと思います。

省みますと補佐として実のあることはできませんでしたが、時のながれとともに次年度に送ることができましたことを良きと思えます。



第8グループ
長谷川 浩一 (足利 RC)

第8グループのガバナー補佐を拝命し、数回にわたるガバナー補佐研修を受け、PETSや地区協議会など先輩各位のご指導のもと瀬下ガバナー年度がスタートしました。

第8グループは足利市内4クラブ会員数約140名で、各クラブ共それぞれ素晴らしい活動しておりますが、会員数の減少があり会員増強が急務であります。

公式訪問については、足利RCを皮切りに足利西RC、足利わたらせRC、足利東RCと訪問し、活動の報告と意見交換を致しました。特に瀬下ガバナーの職業倫理について楽しい時間が持てました。

IMは、2月19日蓮袋館にて「温故知新」をテーマに開催いたしました。講師に元RI理事板橋敏雄PG、地区クラブ奉仕委員長鈴木宏氏(ガバナーノミニ)を迎え、「ロータリーの原点」を学ばせて頂きました。

3月11日東日本大震災について、グループ内の各クラブに呼び掛け義援金を募る。特に足利東RCは救援物資を集め、被災地塩釜市へ源田会長他7名の会員がトラック輸送で現地に赴いた行動は素晴らしい。

ロータリアンとの交流については、足利わたらせRCの1,000回記念例会、創立20周年記念式典、また足利東RC創立50周年記念式典への出席など会員との交流は楽しく勉強になり、充実した1年でした。

RI2550地区各クラブの充実発展を祈念いたします。



ガバナー補佐の一年を振り返って

第9グループ
小玉 新 (田沼RC)



2010～2011年度前半は景気上昇の期待感を持ちながら、平穏に推移をしましたが、後半に入り大変大きな出来事が続いてしまいました。

第2550地区バスターガバナー吉澤兵左氏の御逝去であります。永年にわたり産業界のリーダーとして、第2550地区のガバナーとして、国際ロータリーの発展のためにご尽力をいただき、今後は多方面にわたりご指導いただけるものと願っていた矢先のこと。誠に残念で

言葉もございません。御冥福を心よりお祈り申し上げます。

又未曾有の東日本大震災、被災された皆様に心から御見舞い申し上げますと同時によりよい明日のために一日も早い復興を願うものであります。

さて、本文に入りますが、田沼ロータリークラブに再入会させていただいて4年目、第9グループのガバナー補佐をやって欲しいと言う依頼が舞い込んできました。

仕事の関係で約19年間、ロータリーの活動から離れていたためお引受けして役職がやり通せるどうか戸惑いがありました。

しかし、元来ロータリーの役職は推薦を受けたら何の役でも拒まないと言う慣習、ルールがあるのだと言う事を若い頃、先輩ロータリアンから聞いていた、又会員の皆様も全面協力と言う温かい体制もとっていただけと言う事で、この大役をお引受けすることにいたしました。

本年度のテーマ方針が、「地域を育み 大陸をつなぐ」であります。

瀬下ガバナーのもと、各グループのガバナー補佐の皆様との研究会の中でR I会長、レイ・クリンギンスミス会長、瀬下ガバナーのテーマ、方針等つぶさに研修を重ねながら2010～2011年度をスタートさせていただきました。

まず、第9グループの協調事業については、地域を育み、地域が手をつなぐ事業の取組を中心に、グループ内会長幹事会で協議をしながら実施して参りました。

- ① 秋の自然に親しむ会
- ② 夏期交換学生の受入事業
- ③ 地域を育むIMの実施
- ④ 手をつなぐ合同例会（6月10日予定）
- ⑤ 5クラブ親睦ゴルフ大会

以上5事業を実施して参りましたが、特に印象深い事業としてはIMでありました。

金子実行委員長を中心に企画、イベント作り。如何に参加、ご出席いただいたロータリアンに楽しく最後まで過ごしていただけるか検討を重ね実施をいたした処ですが、結果、大盛会で大変ご好評をいただいた事、初期の目的、地域を育む一助になったものと自負をいたしております。

又定期時に開催される会長、幹事会の中で、グループ内で一つになる事を何か実行しましょう、何かやろうと言う提案がなされ、合同例会や親睦ゴルフが開催される運びになったのも本年度の特記すべき事と思っております。

顧みると多くの人と出逢い、多くの事を経験し、貴重な体験をした事、ガバナー補佐をつとめた事が、我人生の大きな財産となった事。

瀬下ガバナー、各ガバナー補佐の皆様、クラブ訪問の際、温かく迎えて下さった第9グループの会長、幹事さんをはじめ、会員各位に心から感謝申し上げ、結びといたします。

第6グループ石村光正ガバナー補佐（栃木南RC）は、平成23年5月16日に突然の心筋梗塞により急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



“大陸をつなごう！” —東日本大震災・人道支援とロータリアンの使命—

去る4月16日、第3グループIMがこのテーマのもと、宇都宮90クラブのホストにより、宇都宮グランドホテルにて、シャンデリアが揺れる余震の頻発する中、開催されました。東日本大震災の犠牲者に対する黙祷に始まり、次のような内容で実施されました。

第一部 事例発表

宇都宮90R.C.が、R.I.3330地区、タイ国トランロータリークラブと行ったW.C.S.（世界社会奉仕）プロジェクトの実施により、地元小学校に浄水器を設置し、子供達のみならず地域住民に安全な飲料水の供給を可能にし、大きな成果を挙げるまでの一連の経過が映像により報告された。今年度R.I.テーマである“大陸をつなごう”の実践の一環として、当プロジェクトには第3グループの複数のクラブも参加し、今後の当プロジェクト支援のための基金が創設されることになった。

日本での大震災に当たり、タイ国トランR.C.より早速に義援金が届けられ、宇都宮90R.C.ではこれを直ちに2520地区(宮城、岩手県地区)桑原バスターガバナーに直接手渡し、期せずして双方のアジアの大陸が、ロータリーの友情でつながれたことを一層強く実感されたことと思います。

第二部 東日本大震災支援アピール及び義援金贈呈

福田富一栃木県知事、小杉邦彦宇都宮市災害対策本部事務局長、矢野正広NPO法人とちぎボランティアネットワーク事務局長より、それぞれの立場から災害と支援の現況報告をいただき、R.I.2550地区第3グループより各団体に義援金が贈呈された。



福田富一栃木県知事

第三部 講演「難民と一緒に働いて ～人道支援について～」

国連難民高等弁務官事務局長 高嶋由美子氏より、パワーポイントによる説明を交えて、75分にわたり、難民支援の実態について、講師の生の体験を披露していただいた。アフリカ、ウガンダの難民へ提供した便利なソーラ

ーランタンの実物を持参され、日本の被災地へもこれを贈呈し大変喜ばれたとのエピソードもあった。



国連難民高等弁務官事務局長 高嶋由美子氏

講演後、高山ガバナー補佐より謝辞、国連UNHCR協会への寄付金贈呈が行われ、最後に次年度第3グループガバナー補佐A. 恩田

光憲氏（宇都宮西R.C.）同B. 中村勝氏（宇都宮陽南R.C.）の紹介があり、3時間余に及ぶIMを閉会した。

この度のIM開催については、不測の大災害による混乱の中、中止か延期かについて、3月23日のホストクラブ実行委員会にガバナー補佐も同席し、川名会長、飯村実行委員長を中心に真剣な討議がなされ、“この難局だからこそ、今、ロータリークラブ活動を共に考え、行動を起こすべきである”との意見に全員がまとまり、急遽それまで準備した内容を変更し、実施することになりました。実行委員会の柔軟かつ積極的な決断にIM主催であるガバナー補佐としても大いに感動いたしました。



また、例年行われていた懇親会を取り止め、その時間を講演会に、費用を栃木県、宇都宮市、とちぎボランティアネットワーク、そして国連UNHCR協会への寄贈に充当させていただいた。それぞれ僅かな金額ではありましたが、ロータリークラブの人道支援の心は伝えられたでありましょう。今後の災害に対する対応はどうあるべきか、R.C.にとっても示唆に富んだIMであったと思います。

ホストクラブのご協力に改めて敬意を表します。



青少年交換委員会よりご報告



青少年交換委員会委員長
白相 淑久 (馬頭小川 RC)

2011年3月11日に起きました東日本大地震、そして福島原発事故の発生を受け、4月10日、緊急の全国青少年交換委員長会議が開催されました。そのなかで、幾つかの方針が示されました。

まず、来日学生の緊急帰国状況の確認が行われましたが、3月11日の時点で滞在中の一年交換学生は、RI事務総長からの緊急帰国要請のメッセージにより、東日本地域はもとより、西日本地域まで多くの学生が緊急帰国となりました。勿論、一部例外的に滞在を継続中の地区もあります。会議は原発事故に対し2011-12年度の青少年交換に対しどのように取り組むべきかが最大のポイントでした。

会議では、次のような3点につき合意が得られました。

- 次年度の一年交換は、このような特殊な状況下場合にあっては、日本からの派遣のみの「ワンウェイ交換」も認めて頂くべく、RIが再度世界にメッセージを発信すること。
- 次年度来日予定学生が引き続き来日を希望する場合は、原発事故の影響を受けにくい名古屋以西の西日本地区が交換学生の引き受けに協力努力すること。
- RIJYEC危機管理委員会は、これまで想定していなかった原発事故のような緊急事態に対処するべく、緊急の場合は学生を速やかに、且つ安全に母国に帰国出来るよう、西日本地域からの帰国を念頭にそのルート、方法につき、早急にプランを立案する。

このような方針を受け、原発事故の隣接県である当地区は、次年度予定しております一年交換の受け入れにつきましては、原則他地区でお引き受け頂く事と致しました。

一年交換学生受け入れは、新世代プログラムとして評価の高いものであり、せっかくの機会ではありましたが、事情ご理解の上、何卒ご了承下さいませようお願い致します。受入を予定されておられました皆様には次の機会に是非ご協力下さいますようお願い申し上げます。

以上次年度(比企年度2011-12年度)一年交換学生の当地区での受入れ中止のご連絡を申し上げます。派遣は予定通り行われます。

- *当地区に代わり引き受けて下さった地区
- 第2660地区(大阪) 台湾マルチ
- 第2730地区(鹿児島) フランス(D1680)
- 第2770地区(埼玉) アメリカ(フロリダ)

また、「夏期交換プログラム(派遣受入)」につきましても、アメリカ第5280地区と協議を重ねました結果、残念ではありますが、次年度は中止と致しました。

(同様の文書を2011.5.23付で各クラブ宛連絡済み)

★ ハイライトよねやま134号 ★

震災から2カ月、米山学友の支援活動

★在日ネパール人によるカレー炊き出し

在日ネパール人協会では、ギリ・ラムさん(1998-2000/室蘭RC)やジギャン・クマル・タバさん(2008-09/横浜たまRC)など米山学友を中心とする有志が2度にわたって被災地を訪れ、本場のカレーを振る舞いました。1回目の支援先は、「原発事故の風評被害で支援の手が届いていない」と聞いた福島県いわき市。4月1日、いわき明星大学内で1,000食以上のチキンカレーを提供、近隣避難所にも配ったほか、飲料水、子どものおむつやおもちゃを持参しました。

4月16日には47人の在日ネパール人の協力のもと、宮城県南三陸町からの被災者が避難している登米市内の避難所で計1,000食のカレーを提供したほか、ヨガ教室を開いたりマッサージを施すなど、被災者の日々の疲れを癒しました。



マッチンググラントを活用した被災者への支援事業

第6グループ 栃木西RC・栃木南RC・栃木RC・壬生RC

東日本大震災と福島原発での被災者に対し、ロータリアンとして何か行動しなければという思いから気付いたのが、マッチンググラント(以下、MG)を活用した支援でした。これは、平成19年より友好クラブとしての交流があるタイ、バンコクのクラブ(第3350地区 シャロンナコーンRC)と過去2回に亘って実施したMGによるタイ郊外の学校への浄水器設置支援事業の実績があったが為にすぐ実現に向けて行動することが出来ました。また、ロータリー財団からの「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」実施国(日本)の条件は100ドル以上を活用しました。

3月19日にシャロンナコーンRCよりMGを活用した被災者支援の連絡が入り、2口のMGプロジェクトを組むことができました。

1. マッチンググラントプロジェクト#75056 1ドル=82円

実施国	日本	栃木西RC	
援助国	タイ	(バンコックRI3350地区) シャロンナコーンRC	
支援受入先	宮城県	石巻市教育委員会	
支援物資		小中学校の備品(身長計・体重計等)	
資金の負担割合	栃木西RC	16,400円	
	シャロンナコーンRC	656,000円	
	ロータリー財団	647,800円	
	DDF	311,600円	合計事業資金 1,631,800円

2. マッチンググラントプロジェクト#75361 1ドル=82円

実施国	日本	第2550地区第6グループ	
		栃木南RC・栃木RC・栃木西RC・壬生RC(栃木南RCが責任クラブ)	
援助国	タイ	バンコラムRC・バンコックバンナRC・バンコックチャイナタウンRC	
		RI3340地区・RI3350地区	
支援受入先	栃木県	栃木市役所 防災課	
支援物資		栃木市・壬生町に避難している福島原発の被災者が避難所から市・町が提供する住宅に移る際に必要な物品(布団・鍋・フライパン・米・トランジスタラジオ)50世帯分	
		このことに関してはすでに5月の時点で日本赤十字社が提供することに決まってしまった。現在何が必要かを検討中。	
資金の負担割合	第6グループ4クラブ	32,800円(8,200円×4クラブ)	
	バンコラムRC	420,660円	
	バンコックバンナRC	544,890円	
	バンコックチャイナタウンRC	82,000円	
	RI3340地区	246,000円	
	RI3350地区	1,027,050円	
	ロータリー財団	1,210,600円	合計事業資金 3,564,000円

*MGを実施する為の必要条件、問題点(私見)

- ・海外のRCとの交流が長く続いていること。例えば、交換学生の受け入れ、派遣をする。(交流のない海外のRCとMGをすることは難しいと思います。)
- ・クラブ員の中に英語の堪能な方がいること。メールのやり取りが英語であること。日本事務局経由でお願いしても良いが直接協同提唱者とやりとりをした方が意思の疎通が上手くいきます。
- ・今回のような震災に対する援助は、急を要するものであるから、申請から資金入金までに2ヶ月以上もかかるような制度は改善すべきである。(被災地の要求する物資が日毎に変わってしまう為)

狐塚 育男(栃木西RC会長)・長谷川 孝(栃木南RC会長)



故 辻 由兵衛パストガバナーを偲んで



つじ よしべえ
辻 由兵衛 様
平成23年1月17日逝去
享年87歳

- 所 属 宇都宮東RC
- ロータリー歴 昭和36年1月9日入会
1971～72年度 クラブ会長
1972～73年度 国際ロータリー第255地区第3分区代理
1991～92年度 国際ロータリー第255地区ガバナー
2000～02年度 DICO初代委員長
2009～10年度 地区運営委員
- 財団・米山記念奨学金などの寄付歴
ロータリー財団特別功労賞受賞
ベネファクター並びにマルチプルポールハリスフェロー 7回
米山功労者 6回

宇都宮東ロータリークラブ
パストガバナー 羽石光臣

宇都宮東ロータリークラブ創立会員の辻 由兵衛会員がクラブ創立50周年式典の7日前、米寿88歳を10日後に控え急逝されました。

辻さんは何事にも熱心に活動に情熱を持って私たちを導き励ましてくださり当クラブの誇りであり不滅の輝きでもありました。更に、国際ロータリー第2550地区の発展のため地区役員として長く地区への貢献をされました。

辻さんの信条は「威而不猛」（威(い)あって猛(たけ)からず)でした。どうゆう意味ですか？とお尋ねしましたところ、「論語」にある言葉だよ、と答えられました。

子温而厲。威而不猛。恭而安。

(子は温(おだ)やかにして厲(はげ)しく、威(い)ありて猛(たけ)からず、恭(きょう)にして安(やす)し。)

「穏やかでありながら情熱的で、威厳がありながら粗暴ではなく、恭しくありながら安らか」と、日頃は大変に厳しく事に当たりましたが、正に信条通りの生き方をされたと思います。

1991～92年度国際ロータリー第255地区ガバナーに就任されました年が、国際ロータリー第255地区(栃木・茨城)の最後の年度でした。ガバナー就任前に体調を崩され胃の摘出手術を受けましたが、しかし本人の強い意志のもと両県(9IRC)の公式訪問を精力的にこなし、地区大会は宇都宮文化会館で開催さ

れました。当地区大会史上最高の4,000人の登録を得て、ラジェンドラ・K・サブー国際ロータリー会長(RIテーマは「自分を越えた眼を」)の代理としてウイリアム・T・サージェント氏を迎え、年次大会は4月4・5日に盛大に行われました。

パストガバナーになられた辻さんは、「私は常にロータリーは一人でも多くの友を得ることが、最大の喜びと大きな意義をもつことと信じている。若し、ロータリーに入っていなかったら、永久に知ることがなかった友人を思うと、つくづくロータリアンでよかった、また感謝している。」と言われておりました。

辻さんは様々な社会的な活動もされておりました。宇都宮卸売商業団地組合理事長、とちぎ流通センター卸協同組合理事長など、多くの要職を務めながら、最近では臨済宗妙心寺派花園会会長、宇都宮二荒山神社氏子総代会会長などです。

また、趣味の分野でも楽しんでおられました。野山に人が増え危険になったので、鉄砲からゴルフへ。書道は翠軒流連詩師範。散歩がてら、コーヒー豆を買い自分で挽いて楽しんでおられたと言うお話を聞き、厳格な辻さんのほほ笑ましい一面も見ることができました。

辻 由兵衛様のご冥福をお祈りいたします。

合掌

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。 2011年3月～2011年4月

敬称略・順不同

ポール・ハリス・フェロー

大出 仁三	小山 南	小野 好史	氏 家
小花 一洋	宇都宮陽東	斎藤 満	氏 家
渡邊 恒彬	宇都宮陽東	宝住 与一	宇 都 宮

ベネファクター

関根 啓一 今 市

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

片野 眞雄	高根 沢	4回	岡 孝夫	宇都宮陽東	1回
神山 宜久	小山 南	2回	佐貫 直通	宇都宮陽東	1回
藤井 モト	宇都宮陽北	2回	赤坂 圭一	足利 東	2回
石塚 満	今 市	1回	吉川 恵造	大田 原	4回
増山 誠	宇都宮陽東	2回	磯 誠	大田 原	2回

岩上総一郎	大田 原	2回
谷田部千秋	大田 原	2回
山崎 勇	足利 東	3回
塩濱 茂夫	宇都宮西	2回
岡川 光佑	宇都宮西	6回

米山功労者

大畑 和広	益 子	1回	斎藤 満	氏 家	1回
永島 政男	氏 家	1回			

米山功労クラブ

益 子 19回

被災地のクラブからのお礼状が届きましたので一部を掲載します。

拝復 この度の東日本大震災に際しましては、早速のご厚情あふれるお見舞金や支援物資を賜り、感謝に堪えません。心より御礼申し上げます。

新聞等で報じられましたが、当地一帯の被害は甚大でございました。当クラブは事業所・例会場が水没。会員の多くも事業所及び自宅が被災し、クラブとしての例会及び活動を休止せざるを得ない状況でした。しかしながら、私共クラブ会員は持ち前の明るさと前向きなガッツの持ち主が多く、早くも事業を再開された方々も多くおります。

おかげ様で、新しい事業所も開催にこぎつけ、クラブの例会・活動の再開を希望する声も多く聞かれるようになり、五月十九日被災後初めての例会を開催するまでになりました。

未だに通信機器の復旧がされていない為、連絡等ができない状況にあることをお詫び申し上げます。一々拝眉の上お礼申し上げますが本意ではございませぬが、略儀ながら書中をもって厚く御礼申し上げます。

敬 具

平成二十三年五月三十日

大船渡西ロータリークラブ
会 長 新 沼 福 三
会 員 一 同

文 庫 通 信 (284号)

ガバナー月信を中心に新着の資料から

- ◎「ロータリーから、あなたへ。(2000年国際協議会講演より)」リチャード・キング 2011 2p (D.2500月信)
- ◎「魅力的なロータリークラブ」北 清治 2010 4p (D.2530地区協議会記録)
- ◎「ロータリーの源流」田中 毅 2011 21p (D.2640月信)
- ◎「ベンジャミン・フランク・コリンズのスピーチ原稿について」成川守彦 2011 4p (D.2640月信)
- ◎「ロータリーの基本精神ー寛容と奉仕の心」上野 操 2011 1p (D.2580月信)
- ◎「出会いの不思議と面白さ」渡辺好政 2011 2p (D.2500月信)
- ◎「『ノーブレス・オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)
- ◎「青少年はロータリーの継承者」若林洋一 2011 9p (D.2710地区大会特集号)
- ◎「CLP導入しました」天神正人 2011 2p (D.2500月信)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日
TEL (03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp



第2550地区 新入会員紹介



まつもと ゆずる
松本 譲
(宇都宮西RC)

㈱ファーマーズ・フォレスト 代表取締役
平成23年3月31日入会
・宇都宮の地域活性に貢献したく入会しました。若輩者ですが宜しくお願いします。



ふかい ひでき
深石 英樹
(宇都宮西RC)

㈱テクノホーム 代表取締役
平成23年3月31日入会
・RCの一員として、人間的に成長してゆきたいと思っております。



さいとう こういち
斎藤 幸一
(宇都宮RC)

㈱アップライジング 代表取締役社長
平成23年3月31日入会
・宇都宮RCで先輩方から沢山勉強させてもらい良い人生を送ります。



きくち あきひろ
菊地 章浩
(今市RC)

宇都宮証券㈱今市支店 支店長
平成23年4月6日入会
・これからお世話になりますが、よろしくお願い致します。



ほりうち ひでお
堀内 英雄
(益子RC)

㈱益子カントリー倶楽部 支配人
平成23年4月6日入会
・体力には自信があります。



くろさわ よしき
黒澤 佳樹
(宇都宮東RC)

東栄設備工業㈱ 常務取締役
平成23年4月19日入会
・この度は入会させていただきありがとうございます。皆様からのご指導賜りますよう、お願い申し上げます。



かわだ ゆういち
川田 祐一
(宇都宮北RC)

もてぎ交通㈱ 代表取締役
平成23年4月21日入会
・若輩者でございます。皆様からのご指導賜りますよう、お願い申し上げます。



なかむら ともりの
中村 友宣
(真岡RC)

宇都宮証券㈱真岡支店 支店長
平成23年4月21日入会
・皆様と一緒にRCにて学ばさせていただきます。宜しくお願い致します。



たかはし たけし
高橋 武
(真岡RC)

はが野農業協同組合 代表理事組合長
平成23年4月28日入会
・例会の出席に努め、多くの会員の皆さんと交流したいと思います。



うえさわ みのる
上澤 実
(佐野RC)

栃木銀行佐野支店 支店長
平成23年5月16日入会
・素人の新米支店長ですが、ご指導頂きたく、よろしくお願い致します。

■物故会員■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物故
平成23年4月6日 享年85歳
こいけ しずこ
小池 静子様 (宇都宮陽北RC)

- ロータリー歴 平成7年8月入会
2002~2003年 会長
- 財団・米山記念奨学金などの寄付歴
・2001年ベネファクター
・マルチプルポールハリスフェロー
・マルチプル米山功労賞 (6回)



物故
平成23年5月16日 享年69歳
いしむら みつまさ
石村 光正様 (栃木南RC)

- ロータリー歴 昭和57年5月入会
1991~1992年 幹事
1996~1997年 会長
2010~ 国際RC第2550地区
第6グループガバナー補佐
- 財団・米山記念奨学金などの寄付歴
・マルチプルポールハリスフェロー
・米山功労者
・ベネファクター

国際ロータリー第2550地区 4月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	例会数	出席率		会員数							
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員
第1グループ	大田原	4	74.49	81.24	39	38	1	0	2	3	-1	2
	黒磯	4	93.30	93.96	44	41	0	0	0	3	-3	2
	西那須野	4	92.61	93.58	42	44	0	0	4	2	2	0
	黒羽	4	91.15	95.23	19	17	0	0	0	2	-2	1
	那須	4	75.00	75.81	14	14	0	0	1	1	0	1
	塩原	4	70.00	71.10	10	10	0	1	1	1	0	0
	大田原中央	4	67.80	75.02	23	28	1	0	7	2	5	2
第2グループ	烏山	4	92.85	92.85	14	14	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	80.95	87.59	24	23	0	0	0	1	-1	0
	矢板	4	56.70	62.20	31	31	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	87.50	89.01	21	22	0	0	1	0	1	0
	高根沢	4	67.00	74.89	18	18	0	0	1	1	0	0
第3グループA	宇都宮	4	70.70	72.65	92	92	1	4	9	9	0	0
	宇都宮西	3	82.83	86.20	66	69	0	0	6	3	3	0
	宇都宮北	4	83.89	81.04	49	49	1	0	1	1	0	0
	宇都宮90	4	90.25	87.49	39	40	0	0	1	0	1	5
	宇都宮陽北	3	77.92	78.38	35	34	0	0	0	1	-1	4
第3グループB	宇都宮東	4	92.06	93.52	95	96	1	0	4	3	1	0
	宇都宮南	4	79.84	83.92	51	49	0	0	1	3	-2	0
	宇都宮陽東	4	75.00	70.23	44	44	0	0	2	2	0	0
	宇都宮陽南	4	97.22	88.47	20	18	0	0	0	2	-2	2
第4グループ	真岡	4	82.50	89.68	50	51	0	0	3	2	1	0
	益子	3	86.20	91.56	29	31	0	0	2	0	2	0
	真岡西	4	92.71	93.71	40	42	1	0	2	0	2	6
	しもつけ	4	95.83	92.51	33	32	0	0	0	1	-1	8
第5グループ	小山	4	96.20	97.38	39	39	0	0	2	2	0	0
	小山南	4	91.25	93.88	18	20	0	0	2	0	2	2
	小山東	4	93.57	93.80	33	35	0	0	2	0	2	0
	小山中	3	83.30	83.52	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	4	76.90	80.36	41	39	0	0	0	2	-2	0
	栃木西	4	81.43	84.35	35	35	0	0	1	1	0	0
	壬生	4	59.00	85.75	21	21	0	0	1	1	0	3
	栃木南	4	90.70	90.94	31	31	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日光	3	94.20	74.63	24	24	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	4	66.53	76.69	66	65	0	0	0	1	-1	1
	今市	4	92.07	91.11	41	41	0	0	1	1	0	0
	鹿沼東	3	96.03	94.55	43	44	0	0	2	1	1	3
	栗野西方	4	91.25	81.97	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	82.69	84.61	27	27	0	0	0	0	0	2
第8グループ	今市きぬ	4	93.52	92.09	28	27	0	0	0	1	-1	0
	足利	4	71.55	72.19	40	37	0	0	2	5	-3	0
	足利東	3	72.97	77.47	55	60	0	0	5	0	5	8
	足利西	4	82.68	77.48	13	13	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	93.75	94.20	28	28	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	4	88.00	91.77	58	59	0	1	2	1	1	0
	葛生	4	90.70	91.30	38	36	0	0	0	2	-2	0
	田沼	3	93.22	91.19	35	36	0	0	1	0	1	0
	佐野東	4	88.64	88.58	21	22	1	1	4	3	1	0
	岩舟	4	82.00	87.50	22	23	0	0	1	0	1	1
	50RC		83.71	85.22	1757	1769	7	7	76	64	12	71